

特産品？ 開発始まる！

遊休荒廃地解消 に新たな取り組み

特産品研究事業班の第一回ミーティングが行われました。「美麻の特産品ってなにがあったっけ？」と班長コバヤシの最初の一言ですてに行き詰まりムード満点。消極的な意見がふたつみつ。

・・・沈黙また沈黙。

気の短いワタシですが、空気は読むほうなのでここは遠慮がちに「やっぱ美麻は大麻でしょ」・・・アハハハ～と受け流されるかと思いきや、

「ウンウン」「そりゃそうだ」とみなさん。栃木視察の報告を受けた直後という事もあり、ひとつ真剣にやってみるかトントン拍子。



今年から活動の始まった『美し村開拓協議会』（詳しくは9ページ）の視察研修で、栃木県に麻農家を訪れた時の様子。栃木では、品種改良された“毒性のない”トチギシロという麻が栽培されています。

今年から活動の始まった『美し村開拓協議会』（詳しくは9ページ）の視察研修で、栃木県に麻農家を訪れた時の様子。栃木では、品種改良された“毒性のない”トチギシロという麻が栽培されています。

「栽培が無理でも加工から製品開発までをワークショップ形式から始めてみよう」

「空き家をお借りしてセミナーハウスに出来ないだろうか」等々、突然活発路線のみなさん。美麻の麻は終わってなんかいなかったのだ！

麻のメッカめざしてゴーゴーだ！勢いづいてツリニンジンなるニューアイテムも登場。どうなる事やら特産品班。グンバツムード満点です。レッツジョインアスですぜ、奥さん。

特産品研究班 大島健一

美麻地域づくり会議は、

H19、ヒマワリー万本プロジェクト

H20、お宝デザインコンテスト

H20、棚田再生ワークショップ と、

様々な方法で地区内の遊休荒廃地の解消に取り組んできました。

うが～し、美麻地区にはあり余るほどの荒廃地があり、その数は増えるばかり、今年、新たな取り組みとして考え付いたのが、原始農法の『焼き畑』です。

地域の若年寄りガ子どもの頃は、焼き畑でソバを作ったというお話を聞き、伝統農法の復元も合わせて取り組むことになりました。



現在、大塩と二重で2箇所の農地を貸していただき、ワークショップの準備を始めています。

7月19日までに草刈りは終了。火入れの届けも提出して、火をつけるのを待つのみですが、なにせ、今年は天気が最悪。予定された火入れも順延を繰り返すばかりです。

会場準備ができれば多くの方に参加いただき、楽しく農地の再生をしたいと考えています。ぜひご参加下さい。

《求む！》

焼き畑経験のある人。

私達に美麻の「伝統的な焼き畑方法」を教えていただける方を募集します。

情報をお持ちの方は、事務局（TEL29-2311）まで連絡下さい。





今年から、農水省の助成を受けて美麻の今後の地域づくりを検討している「美し村開拓協議会」では、現在今後の事業計画策定を行っています。

このために視察研修を行い、6月麻プロジェクトの赤星栄志さんや柔道豊復興事業の植田昇さんの案内で、栃木県鹿沼市の麻栽培農家の視察研修と栃木県立博物館へ麻農具の文化財登録の方法についての研修を実施しました。

また、美麻にもアドバイザーとしてお越しいただいた片山健也さんの案内で北

海道二セコ町の視察研修を行い、1件あたりの農家で年間1000万円の売り上げがあるという道の駅、全国初の株式会社による観光協会、体験観光企画会社、反対運動が起こりながらもすべての地域住民の合意で建設した有名な最終処分場や堆肥センターなどを見て、住民自治のあり方を学び、地域の活動されているメンバーと交流の機会を得てきました。

今後は、アドバイザーとして、江戸川大学の鈴木輝隆教授、経営コンサルタント竹内裕明氏、麻の赤星栄志氏などをお招きして、今後のまちづくり事業計画策定を進めていきます。

計画の策定には、多くの会員、地域の皆様からも参加いただき、地域の将来を考える機会にしたいと考えています。

美し村開拓協議会

美し村開拓協議会とは

美麻地域づくり会議が、農林水産省のモデル事業(平成20年度農林水産省の農山漁村地域力発掘支援事業)に提案した内容が採択され、事業実施のために地域づくり会議会員に参加希望を募り組織した協議会です。

どの様な事業ですか？

持続可能な活力ある農山漁村の実現に向け、ふるさとづくりのテーマを定めた計画を作成し、目標を実現する活動を国の支援を得て実施します。

事業の期間は

事業の期間は、平成24年度までです。

平成21年度に事業実施に必要な『ふるさとづくり計画』を策定し、その後、事業計画に基づき実践活動を行います。

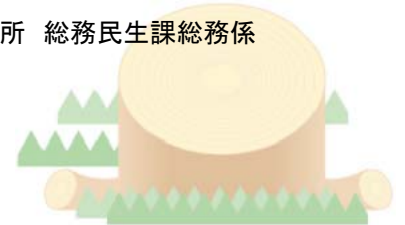
地域づくりの目標は何ですか

ワークショップでふるさと再生

“美し村開拓団入植促進プロジェクト”をテーマにしています。(詳しくは、次のページをご覧ください)

組織体制

- 会 長 合津 富吉 美麻地域づくり会議
- 副会長 前川 浩一 美麻地域づくり会議
- 副会長 大島 健一 水上神社を楽しくしようの会
- 監 事 下條 秀則 美麻地域づくり会議
- 監 事 高橋 功 美麻地域づくり会議
- 委 員 小田 時男 メンドシーノ芸術交流プログラム
- 委 員 江津 文人 源流美麻太鼓の会
- 委 員 細井 忠 しずかの桜環境を守る会
- 委 員 門脇 佳子 美麻チャレンジ
- 委 員 宮沢 重勝 道の駅農産物販売所
- 委 員 北沢伊絃男 メンドシーノ姉妹都市交流実行委員会
- 委 員 松沢 吉次 美麻地域づくり会議
- 委 員 左右田平嘉 美麻地域づくり会議
- 委 員 小林 博一 美麻地域づくり会議
- 委 員 吉沢 岑夫 美麻地域づくり会議
- 委 員 宮沢 雄一 美麻地域づくり会議
- 委 員 佐藤 修一 大町市美麻支所 支所長
- 委 員 西沢 一英 大町市美麻支所 産業建設課長
- 事務局 大町市美麻支所 総務民生課総務係



美し村開拓団の事業目的と計画策定状況



交流ワークショップで、ふるさと再生！

“美し村開拓団入植促進プロジェクト”

～大町美麻ニューフロンティア開拓事業～

Step.1 ふるさとづくり計画の策定 ～「住民主体の地域経営」

- 地域課題の抽出と解決アイデア募集～ワークショップの企画、立案
- 実施体制の整備とツアープランニング
- 対象者：地域住民（在来者、移住者、二地域居住者）



現在までの検討経過

5/20

第1回検討会 事業計画の説明、計画策定についての意見交換

6/4.5 第1回視察 栃木県（県立博物館、麻農家）

○麻文化伝承のための農具の文化財登録手法について

○麻農家での麻栽培の状況

6/10 第2回検討会 視察報告、協議会として伝統文化保存継承の柱として麻を中心に取組むことを確認

6/18.19 第2回視察 北海道ニセコ町・住民による道の駅の運営、まちづくりへの住民参加体験プログラムの構築について（ニセコ・アウトドア・センター）

7/17 柔道畳を核とした交流事業の打合せ・横浜市副市長を表敬訪問

7/18 体験型ワークショップ、特産品開発視察（銀座ミツパチプロジェクト）

7/26 第3回検討会

第1回アドバイザー派遣

○江戸川大学鈴木輝隆教授

○先端起業科学研究所

竹内裕明所長

※計画策定状況は、美麻WikiのインターネットTV『美麻Wiki-TV』で

順次配信します。

Step.2 ふるさと再生ワークショップの実施

○市民農園を拠点として、地域住民（在来者、移住者）、二地域居住者、都市住民、その他（外国人観光客など）が参加するワークショップの開催。



新たな交流産業の創出

Step.3

美し村の再生！

～住民自治による地域経営の実現～

- この事業では、美麻地区以外の方々の参加を得ながら、美麻地域づくり会議が今まで行ってきた地域づくりワークショップを発展させた『ふるさと再生ワークショップ』により、地域を活性化させようとするものです。
- ふるさと再生ワークショップでは、5つの事業を展開します。
 - ①情報交流人口の増加――（インターネット、テレビの活用による情報共有の推進）
 - ②伝統文化の継承――（麻や祭りなど、地域の伝統文化の復活や継承を行います）
 - ③農村風景、農地の再生――（遊休農地の解消や、地域の景観形成を行います）
 - ④産業の振興――（②、③に関連した特産品研究開発を行います）
 - ⑤定住人口の増加――（①～④の活動を通じ、定住人口増加の取組みをします）
- 地域に新たな交流産業を興し、住民自治による地域経営の実現を目標とします。

しずかの桜環境を守る会が 大北地域環境表彰受賞

静の桜公園周辺の環境整備活動に取り組む「しずかの桜環境を守る会」（津滝保子会長）は、6月19日、「豊かな環境づくり大北地域会議」から、平加蔵の「加蔵さくら会」、白馬村「大出区」とともに、環境整備・美化活動が評価され、表彰を受けた。

同会は、大塩にある「静の桜（県天然記念物のイヌザクラ）公園」周辺の遊休荒廃地を整備し、大山桜やアヤメ等の植栽などにより環境美化活動を行っている。津滝会長は「桜を見に来てくれる方が年々増えている。望外の受賞をさせていただき驚いたが、今後も整備を続け、地域住民が集い、憩える里づくりを目指したい。」と抱負を語った。



整備している遊休荒廃農地で、受賞を喜ぶ会員

美麻地域づくり会議に まちづくりの視察

7月7日、宮崎県清武町の議会の皆さんが視察にみえました。聞けば、地方議会人という専門誌に、紹介された記事を読まれて、遠路、合併後の地域づくりについて視察にみえました。清武町では、来年3月の宮崎市との合併を控えて、合併後の地域づくりに向けた取り組みが行われており、真剣に地域の将来を考えておられる様子が伺えました。



美麻中学校野球部が 北安曇郡球技大会で初優勝!

部活の事を振り返ると、長いような短いような気がする

一・二年の時、先輩を見て少しづつ僕も上手くなった。夏の大会で先輩方は激闘を繰り広げたが負けてしまった。皆で泣いたあの時を忘れない。

僕たちが主体となって部活が始まった。皆、日々練習に励んだ、色々なポジションを経験し、僕はキャッチャーになった。たくさん練習し声を出した。そのおかげで部長になった。素振りでごきたまめを見せ合ったり、球速を比べあったり、競い励まし皆強くなっていた。そして、三年の夏が始まった。初日、美麻の守備から、リズムを作り、点をためていった。その後も、守備が崩れることなく、二日目に進出した。昨日同様守備でリズムを作り、少しずつ点をためた。途中逆転されてしまったが、気合でつないで逆転勝利することができた。決勝戦、守備では、一球に飛びつき、一球を大事にした。攻撃では、何が何でもつないでやろうという気持ちから、相手から点をもぎ取った。一球に全力になったおかげで見事優勝することができた。次の大会では、上手く守備がみ合わなく、負けてしまったが、皆で一球に全力で取り組んだ夏は、僕の宝物です。



美麻中学校三年 江津 拓真

地域の
地気なる
二ユ一入
や出来事



婦人会バス事故と美麻村



小布施町の市村 憲彦さんより、「タウン誌 栗の詩」に掲載されているエッセイを送っていただきました。

で、紹介します。

『大町へ向かった小布施婦人会の五台のバスの内一号車が美麻村で河原へ転落した、たくさんの方の死者とけが人が出ているという。(中略) 美麻村の皆さんと地元消防団の救助活動は、それは後々まで語り草といわれるほど献身的であり、着替えの衣服が届けられ、婦人会の皆さんによる炊き出しが整然と行われたという。亡くなられた方六名の他四十九名の方が重軽傷をおわれ大町病院に収容された』
(栗の詩第41号より抜粋引用)

先日、仕事で小布施町に立ち寄った際、市村さんにお礼を言いに行きました。「その節はお世話になりました。美麻の皆さんによるしくお伝え下さい。」とのことでした。



～事故現場は今～

昭和34年6月3日に事故のあった道路は、現在、切石トンネルが開通し安全に通行することができ、旧道の脇には供養塔が建立されています。

当時を知る地元の人にお話を伺うと、「ケ



ガをした人を公民館に運んだが、人数が多くて入りきれず、近くの民家でもケガの手当てをしたことを今でも覚えている」と話してくれました。

千見から青具方面に30mほど行った道上にある供養塔

美麻の宝発見・伝が、元気づくり支援金の事例紹介に

美麻 Show
のるえ事
域な一
地にユ
地気ニ

昨年、長野県の地域発元気づくり支援金の助成を得て実施した『美麻の宝発見・伝』が、大北地域の事例紹介として、雑誌『信州自治』で紹介されました。



※紹介された冊子は、事務局でご覧いただけます。

2010年、国際姉妹校提携に向けて

昨年の訪問時に、メンドシーノの実行委員会から提案されていた国際姉妹校の提携内容について、今までの交流の経過を確認しながら今後も学校同士の交流を続けましようというもの。

会議で検討された内容をメンドシーノの学校に送り、来年の訪問時に美麻小中学校とMend



ocino K-8 School (メドシーノ・ケイスル-イト・スクール ※メンドシーノの学校は、幼稚園からミドルスクールまでの一貫校として最近名前が変わったそうです) の国際姉妹校提携ができるよう準備を進めることとなりました。

コミュニケーションブック Ha (話) Na (名) Su 発行準備中

地域のコミュニケーションを活発にしようとして発行を計画しています。2月に自治会を通じて情報を提供いただいた内容を編集し、近日中に発行を予定しています。

お知らせ

ふたえ市民農園管理人募集

人数：若干名
 勤務時間：土日、祝日を中心に勤務できる方
 午前10時～午後8時のうち
 5～7時間/日
 時給：800円
 業務内容：窓口受付、レジ操作、清掃、
 事務処理など
 お問い合わせ：美麻地域づくり会議市民農園部会
 電話29-1010（ふたえ市民農園）
 担当：前川まこ

美麻い～とこよとくれフェア 開催のお知らせ

今年も道の駅活性化事業“美麻い～とこ
 よとくれフェア”を開催します。



- 日 時：8月9日（日）
午前10時～午後2時
- イベント案内
 - ・イワナのつかみ取り
 - ・ゲーム（輪投げ、ストラックアウト）
 - ・源流美麻太鼓の演奏
 - ・美麻間伐材温泉 枝木（エコ）の湯
 - ・カキ氷づくり体験 など
- 参加費： 200円（材料代）

ワークショップ参加者募集

- 焼き畑体験ワークショップ
 焼き畑で作物を作ってみよう。種を蒔いてから収穫までを体験してみよう。
 《開催時期 8月から》
 ※開催日は、天候不順のため確定次第お知らせします。
- ハチミツづくりワークショップ
 日本ミツバチを飼育してハチミツをしばってみよう。巣箱作りからはじめる飼育体験ワークショップ。
 《開催時期 9月から》
- 参加費 1,000円（材料代・保険料等）
- お問合せ・お申込み先
 事務局（美麻支所内）電話29-2311

夏期球技大会開催日決定 （公民館）

- 期 日 9月6日（日）
 ※雨天の場合 室内競技のみ
- 日 程 開会式 午前8時30分
 競技開始 午前9時
- 会 場 ゲートボール 新行丸山公園運動場
 ソフトバレー 小中学校体育館
 ソフトボール 小中学校グラウンド

地域づくりサポーター募集！

美麻地域づくり会議の活動を応援いただける協賛者を募集中です。



協賛者には、印刷機の使用料減免、ホームページデータ更新支援、情報提供などの特典も用意しています。（詳しくは事務局まで）

地域づくり活動を応援いただいている協賛者の皆様を紹介させていただきます。（50音順）



安曇野アイターン友愛会、あずみ野エコファーム、大町市消防団第六分団、きつつきのおやど、グリナーズビレッジ、源流美麻太鼓の会、下條秀則、千見おやき生産組合、手打ちうどん＆旅人民宿、しずかの里、農産物販売所、パン工房森のふくろう、ふるさと美麻会、ぼかぼかランド美麻指定管理者、美麻キッチンガーデン、美麻地区社協、リペアオート美麻